

# HIV感染症の患者様へ 治験協力のお願い

治療歴が多いHIV-1感染症の患者さんを対象とした治験に  
参加して頂ける方を募集しています。  
募集期間：2020年6月～2021年1月

MSD株式会社の依頼によるHeavily Treatment-Experienced のHIV-1感染症患者を対象として、Islatravir (ISL)、ドラビリン (DOR) 及びドラビリン/Islatravir (DOR/ISL) の抗レトロウイルス効果、安全性及び忍容性を評価する第III相試験

現在当院では、以下のような治療歴が多いHIV-1感染症の患者さんを対象とした治験を実施しております。

- ・ 3か月以上同じ抗レトロウイルス薬の組み合わせを服用しているにもかかわらず、ウイルス量が高い状態である（血漿中HIV-1 RNA量が500 copies/mL以上）
- ・ NRTI耐性及びNNRTI耐性を含む3つ以上の薬剤クラスに耐性がある
- ・ 組み合わせ可能な薬の中で抑制効果が期待できる抗HIV薬が1つ以下

※この他にも基準があります。ご来院時の検査結果により参加できない場合がありますのでご了承ください。



## 『治験』とは何でしょうか？



私たちは、ケガをしたり病気になったときには、『くすり』を使って治療されることが多いものです。

新しい薬が世の中に出てくるためには、まず最初に、『くすり』になる可能性のある物質について試験管内での作用を調べたり、動物での効果や安全性などを調べます。

しかし最終的には、健康な人や一部の患者さんの協力を得て、人の病気の治療に役立つかどうかを確かめる必要があります。

このように、健康な人や患者さんに実際に使っていただいて、効果と安全性を確かめる試験を『治験』といい、治験で使われる薬を『治験薬』といいます。

### この治験に対するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

治験責任医師 岡 慎一

電話番号：03-3202-7181（代表）

治験管理室「ACCの治験について」とお伝えください。

受付時間：平日 9:00～17:00